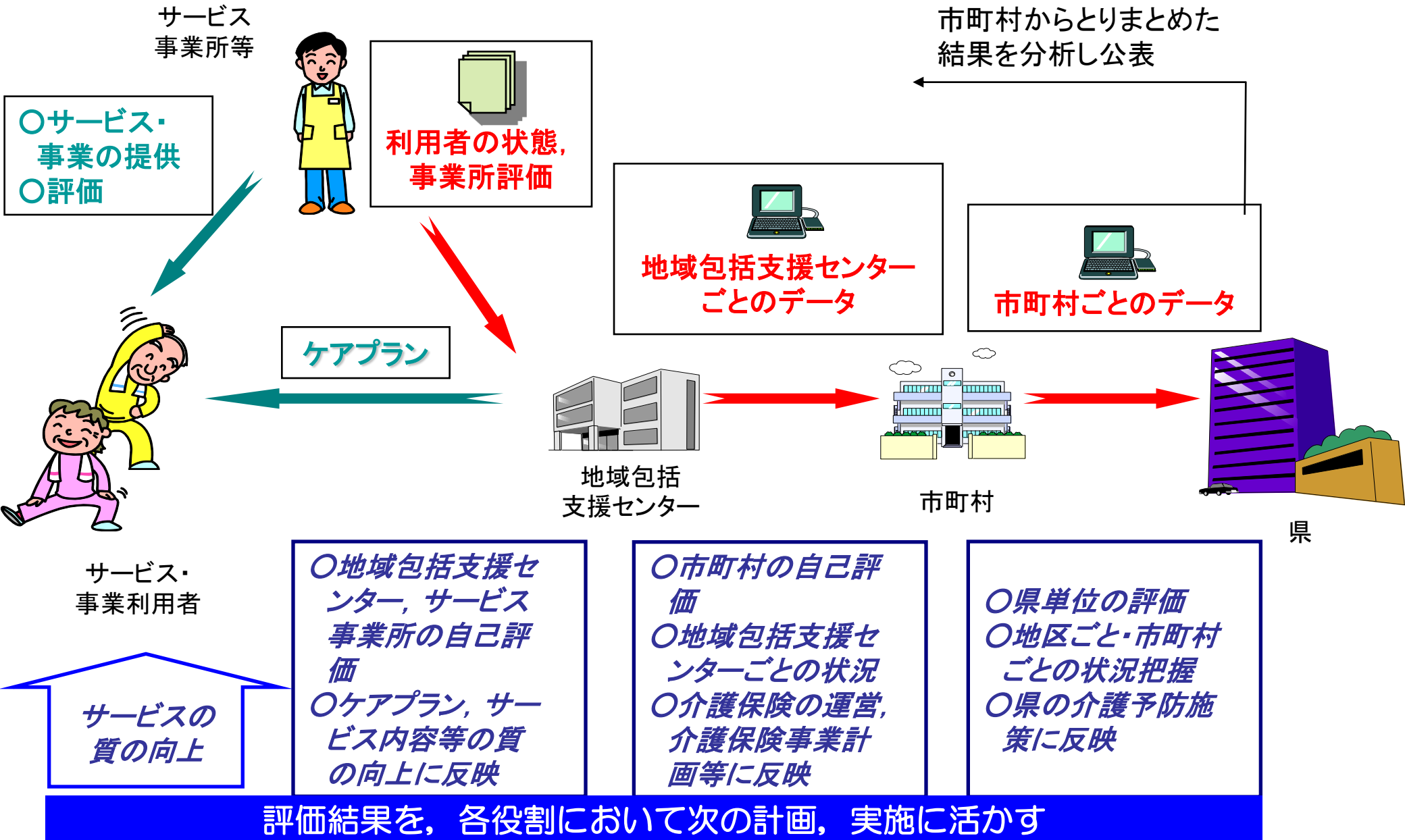


鹿児島県介護予防評価の目指す姿



今後の課題

かごしま介護予防力強化事業(H21～)の中で対応していく

○介護予防の評価関係

- (1) 介護予防マニュアルによる評価結果の回収，分析
- (2) 実績が上がった市町村の個別事例分析

○その他必要なこと

- (1) 介護予防サービスの提供基盤の充実

NPO法人等と協働し，特定高齢者または一般高齢者の様々なニーズに対応できるサービスの受け皿づくり

- (2) 介護予防の普及啓発

介護予防の重要性の普及啓発による事業参加促進等

- (3) 特定高齢者の早期把握・早期対応の促進

薬局やかかりつけ医，歯科医等の関係機関と連携をとりながら，生活機能が低下しつつある特定高齢者を早期に把握し対応できる体制づくり

まとめ

鹿児島県の取組の特徴

- 評価指標の統一化においては、実地調査やアンケート調査、評価指標の試行等を重ねて現場の声を取り入れたこと
- 利用者本人の意欲を高められるよう心がけて評価指標、様式を作成したこと
- 県ホームページを活用して、サービス事業所が様式を簡単に使用できるよう配慮したこと
- それぞれの関係団体で実地調査、マニュアルの作成、研修会での普及啓発を図ってもらうことにより、介護予防への関係者の理解、協力を得られる体制づくりを行ったこと